

佐保会兵庫県支部だより

第 26 号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市北区北五葉 2-3-8
〒651-1131 TEL・FAX 078-592-1464



岩井 健作 画

いあいやり

秋里三和子 (S 27文)

地球の温暖化を日々思わずにいられないようなきびしい暑さの今夏でしたが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。さてその炎暑の七月末、今年も恒例の佐保会総会が奈良の地で開かれました。席上、昨年につづいて大学の構造改革に取り組んでおられる母校の現状を、丹羽学長がご説明下さいましたが、さまざまな課題を抱えながら新しい大学に向けての努力が続けられているご苦労が、一言、一言、伝わってまいりました。二十一世紀がめざす男女共同参画の社会は今まで以上に女性のリーダーを必要としています。その社会の要請に応えうる人材の育成をめざし、女子大としての伝統を受け継いだ個性豊かな大学であり続けることを目標に、施設・運営・カリキュラム等の改革に尽力しているとのことをお話を伺い、佐保会員の一人として、母校の改革の成功、輝かしい発展を皆様と共に願いながら、古都のたたずまいが優しく息づいている奈良の地を後にしたことでした。

このように大学も困難な時期に入っていますが私達のまわりにも昨今は暗い出来事が頻発するようになりました。昨秋の同時多発テロ以来、世界は大きな時代の曲がり角にさしかかっているように思います。今は多くの人々がこうした時代に対して漠然とした不安を感じて、この国、この社会を少しでも明るくしたいと願いながら、何から手を着ければよいのかと迷っているようにも思われます。このような時、佐保会支部の集まりが、互いの心の憩いの場となるだけではなく、社会へのささやかな貢献の方法を模索する場ともなり得たらと、願っております。

前支部長浅野晶子先生から大役を引き継がせていただいた重責を痛感しておりますが、多くの先輩諸姉が築いて下さった兵庫県支部のよき伝統を大切にしながら、新役員の方々と共に努力して参りたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成14年度 佐保会兵庫県支部総会

平成14年5月26日(日)
神戸ポートピアホテル

プログラム

～物故者に対し、黙祷～

1. 開会のことば
2. 支部長挨拶
3. 新入会員紹介-自己紹介-
4. 議長選出
5. 議事
 - ① 平成13年度事業報告
 - ② 平成13年度会計報告
 - ③ 平成13年度会計監査報告
 - ④ 役員承認及び紹介
役員挨拶
 - ⑤ 平成14年度事業計画
 - ⑥ 平成14年度会計予算
6. 記念品贈呈
 - ① 受賞
 - ② 卒寿のお祝い
 - ③ 卒後55年のお祝い
7. 講演
安藤 敬子氏 (S28文英)
学校法人聖母女学院元理事長
「滞日外国人出稼ぎ労働者
の支援活動にかかわって」
8. 来賓の挨拶
9. 会食
10. 各部報告
 - ① 本部報告
 - ② 佐保短大報告
 - ③ 大学婦人協会報告&新役員紹介
 - ④ 佐保婦人学級報告
 - ⑤ 「若草」報告(平成14年度委員紹介)
 - ⑥ 「睦会」平成14年度担当者紹介
 - ⑦ 第26号「支部だより」編集委員紹介
11. 閉会のことば

5月26日、爽やかな初夏の日曜日に平成14年度支部総会がポートピアホテルで会員68名参加のもとで開催されました。今年は新入会員の参加があったことが残念でした。

本年は支部長の交代があり、平成7年から7年間に渡りご活躍下さいました浅野晶子様から秋里三和子様にバトンタッチされました。新しい支部長のもと、21世紀の兵庫支部の活躍が期待されます。浅野様には長年支部長としてのご苦勞に感謝申し上げます。

内匠慶子様の叙勲のお祝い、安藤敬子様の講演に続き各報告を受けながら会食をし、最後に内匠様の指揮による校歌合唱で会を閉じました。

織部ミチ子 (S29家食)



— 哀 悼 —

末松 順子様	H 2 文国	H13. 1. 8	没
松下 知子様	S19 家	H13. 6. 23	没
大西佐嘉枝様	S16 A理	H13. 8.	没
山根 英様	T14 家	H13. 7. 10	没
大原 俊子様	S15 特保	H13. 7. 13	没
井上 美穂様	H12文スポ	H13. 10. 12	没
名村喜久江様	S22 文	H13. 12. 12	没
大倉 澄江様	S14 家	H13. 12. 20	没
岡村 豊様	T15 臨国	H13. 12. 28	没
土井 芳子様	S 2 保	H14. 5. 6	没

お慶び

勳五等瑞宝賞

内 匠 慶 子様 (S18保)

卒寿のお慶び

平 井 美 弥様 (S8文)

清 水 千代子様 (S8家)

別 所 きさ子様 (S8家)

米 山 喜代子様 (S8家)

平成14年度 新入会員 (地区順、敬称略)

学 部	氏 名	住 所	進 路
生環住	小林奈緒子	東灘区	(株) サンゲツ
理 物	宮田真理子	東灘区	
理 生	松村みちる	灘 区	理 化 学 研 究 所
生環文	小幡 理香	中央区	ニッセイ同和損害
理 物	楫 登紀子	中央区	住友電機工業
文社情	福本 純子	西 区	ルイ・ヴィトン・ジャパン
文比歴	金原 彰子	尼崎市	
生環住	木村 由香	尼崎市	
文スポ	林 麗子	宝塚市	奈 良 女 子 大
文教文	村本志希子	宝塚市	
理 数	北田 聖子	川西市	富士ゼロックス
生環アバ	押谷衣里子	明石市	奈 良 女 子 大
文人関	千葉加寿子	明石市	
理 物	藤原美智子	明石市	
生環食	前田 仁美	高砂市	ヒューマン(株)
理 生	内田 博子	姫路市	神 大 理 学 部
理 数	川原亜希子	三原郡	県 立 三 原 高
生環食	石山 博子	奈良県	エスフーズ(株)
生環食	蠣原 希	千葉県	生活協同組合
生環食	小石 裕美	石川県	フジッコ(株)
生環住	井原 邦子	姫路市	丸 八 真 綿
大学院			
博前行	伊藤 朋子	伊丹市	
博前情	濱村 翠	伊丹市	既入会 H12理情
博前シス	和田 亜弥	宝塚市	既入会 H12生環シス
博前食	岡本 摩耶	加古川市	

— 講 演 —

「滞日外国人出稼ぎ労働者の支援活動にかかわって」

学校法人聖母女学院元理事長
安藤敬子氏 (S28文英)

安藤敬子様は大学卒業後一年間研究室で助手を勤められ、その後ヌーヴェル愛徳修道会に入会されました。95年農村開発ボランティアとしてタイへ派遣され、帰国後、京都YWCA・APT (Asian People Together) のメンバーとして滞日タイ人の支援活動に携わっておられます。

この日の講演内容は、その活動の中の一例として「一人のタイ人女性の日本人男性との国際結婚にまつわる在留資格の裁判の経緯」でした。

96年大阪地裁での行政裁判の敗訴から98年完全勝訴となりながら、なおも大阪入管の最高裁への上告中という長年にわたる裁判を異国の地で戦い続けることがいかに過酷なことか、想像を絶するものがあります。

彼女を支える安藤様の力強い行動力と聖職者の温かく優しい眼差しが、彼女たちをどれほど励まし勇気づけているかと、お話を拝聴しながら感じ入ったことでした。

田中加代子 (S47文教)

若草だより



若草の活動報告と予定

平成14年5月26日(日) 第10回若草定例会
 6月5日(水) 「しあわせの村」で楽しい交流を!
 11月8日(金) 公館(迎賓館)と菊の相楽園を訪ねて
 11月16日(土) 逢うたむパーティー
 平成15年2月26日(水) 早春の会

平成14年度若草運営委員

(中央・兵庫・長田) 瀬川 順子 (078-361-1543)
 藤井 勢子 (078-231-5334)
 古田 貴美子 (078-672-0691)
 佐々木 智子 (078-594-1716)
 出井 葉子 (078-581-7215)
 杉村 裕子 (078-952-3524)

平成15年度も若草では「逢うたむパーティー」をはじめ色々な活動を予定しています。詳細は若草運営委員にお問い合わせ下さい。若草だよりをお送り致します。

初めて「逢うたむパーティー」を企画して

瀬川 順子 (S41文英)

「若い人にもっと佐保会を知ってほしい。参加してほしい。そのためにはまず若草へ」平成十三年度の当番が企画の話し合いをした時、皆の願いはこの一点だった。「若い人だけでおしゃべりしてもらえば「予約しないで気楽に参加してもらええるバイキング形式の食事を」「いっその事、会員の推薦で男性も参加してもらえば」「新しい出会いのきっかけになるかも」というように話が進んだ。「逢うたむパーティー」の名称もこの流れの中で決まった。

何人の参加者があるのか、雲をつかむような状況だったが、佐保会、会員のお身内や教え子など、遠くは川崎市や倉敷市などから、男性十三名、女性十六名の申し込みがあった。世話係が一番頭を悩ませたのは、個人情報だった。私達がプロフィールを知り、会話を盛り上げるため、生年月日、住所、勤務先、趣味などは、申し込み用紙に記入してもらったが、万一、情報が外部にもれてはと、大事をとって非公開とした。

世話係一同初めての経験のため、緊張して当日を迎えた。しかし会ってみると、さすが佐保会の縁に連なる方、素晴らしい人達ばかりだった。そしてグループに別れて食事を始めた。自分の勤務について話される方、趣味について、旅行の出来事を話さ

れる方など、座は盛り上がり、私達の心配も吹き飛んだ。皆さん打ち解けられた頃あいを見はからって、メールアドレスの交換を勧めたりもした。

終わったあと、感想を追跡調査してみた。「楽しかった」「安心できる顔ぶれだった」「話が弾んで十分食事ができなかった」「バイキング形式は落着かなかった」「情報を公開してほしい」等、様々な意見が寄せられた。

このパーティーをきっかけに、今も仲良くしていらっしゃる方がいるという、うれしいニュースも届いている。今年の、そしてこれからのパーティーが楽しみである。

「しあわせの村」で

楽しい交流を

出井 葉子 (S54文教)

梅雨入り前の好天の下、二十名の参加を得て、神戸市北区の総合福祉施設「しあわせの村」で今年度第一回目の若草行事を行いました。緑あふれる北区の自然の中で、幅広い年代の会員が交流し、行事を通して佐保会への愛着を深めていけるような会にしたいという思いで企画しました。

まずは、ランドゴルフ場にて二人一組みとなつて競技。この日が初対面であったり、その年齢差が最大三十四歳であったりと、新鮮な組み合わせのペアばかりです。ほぼ全員が初体験という事でしたが、いざク

ラブを握ると真剣そのもの。ボールの行方を追って歓声を上げ、池に落ちては悲鳴、ホールインに大拍手と女学生に戻ったような光景が繰り広げられました。

午後からのクイズ大会では奈良女子高等師範学校から奈良女子大学へと変遷していく歴史を紐解きながら記念誌「青丹よし」から、また、大先輩の小倉遊亀さんに纏わるエピソードから、新しくは女子大ホームベージからと、時代を超え、多岐に渡って出題されました。最後にランドゴルフとクイズの総得点で、入賞ペアへの表彰があり、場内大いに盛り上がりました。

温かく、そして澆刺とした先輩後輩の姿に触れてその元気をもらい、同窓の会に集える喜びと誇りを胸に、また明日からそれぞれの分野で活動していける、そんな若草の集いにしていければ幸せだと思います。



睦会だより

昭和33年3月卒25人で睦会を担当する

山本よしみ

(S33家食)

平成13年1月、神戸在住者に声がかかり、3人集まり、前年度の担当者からの引き継ぎを受けました。早速、名簿で25人を探し出し連絡をとり、3月から打ち合わせを始めました。準備会4回もちましたが成果の程は如何でしたか。43年ぶりの顔合わせで、親しくしていた者同志ならいざ知らず、街ですれ違っても、名前も顔も分からぬ状況でした。生活創造センター(神戸クリスタルタワー)で話をし、いくうちに情報交換がすすみ、役割分担など軌道にのせた話し合いができるようになりました。10人前後の出席者でしたが、積極的に受け持ち、責任をもって仕事をすすめることができました。大先輩の方々の睦会発足に対する思いが、浸透していたからではないでしょうか。

11月11日は天候に恵まれ、

足の便のよい三宮「楽珍」でしましたが、3回目の場所と料理ということでほとんどの方が経験済みで、面白味が少ないのではと案じました。40人の出席があり、担当者一同ほっと一息つきました。最も頭を悩ました余興も、クイズ、扇舞、歌唱と快く華を添えていただき、感謝の思いで一杯です。睦会を担当することによって、タイムスリップし、学生時代の面影を懐しんだり、43年の時の流れに漂う様変わりを楽しんだりしながら旧交を温めることが出来ました。アツという間に終わり「案ずるよりは産むが易し」とはこのことかなと思います。

同級生の絆を確認できた睦会を担当して、佐保会のつながりの強さと温かさを大切に、後輩に残さなければと思います。連絡しても参加していただけなかった方には、非常に残念です。御連絡お待ちしています。

いつも元気に御出席いただき、後輩を導いて下さる諸先輩の方々に厚くお礼を申しあげます。

睦会平成15年度当番
昭和35年3月卒業生

平成14年度 地区リーダー&もより会報告

(H14. 8. 28現在)

会員数	地区名	氏名	年次	最寄り会報告	会員数	地区名	氏名	年次	最寄り会報告
76	東灘区	瀬正子 S37家食 針生 祐子 S51理物		14. 4. 27開催 (岡本ドンク店)	50	明石市	内匠 慶子 S18保 寺田 翠 S37文幼		14. 11月開催
36	灘区	笹原 順子 S32文史 榎本 邦子 S32理数			29	加古川市	田中 洋子 S44家食		
33	中央区	右田 俊子 S52理物		13. 12. 8開催 (ラッセホール)	12	高砂市			
10	兵庫区	田中加代子 S47文教			9	加古郡	田中 明子 S43文幼		14. 6. 23開催
15	長田区	赤松 和子 S52文教			13	三木市	森本 寿美 S49理化		
47	北区	小池 典子 S33文英 村上美枝子 S36家被		14. 3. 25開催 (しあわせの村)	7	加東郡			
44	須磨区	中島 悦子 S34文地 三輪 孝子 S49理化			1	多可郡			14. 10月に開催
56	垂水区	下井 盈子 S33文英 都筑久美子 S37家被		15. 1月開催 (淡路夢舞台)	3	西脇市	村田 好子 S39家食		
51	西区	古山美智子 S40理数 桑名 好恵 S50家食		14. 秋に開催	2	小野市			
48	尼崎市	藤岡 利子 S38家被 正岡 康子 S49文教		14. 11月に開催	4	加西郡			
96	西宮市	永吉 和子 S34理化 北川 清子 S40家食		14. 5. 18開催 (県立美術館)	0	美嚙郡			
39	芦屋市	山崎 渺美 S39文教 福井千佳子 S40理化			89	姫路市	笠井 康子 S40文英		14. 7. 20開催
31	伊丹市	塚口 郁子 S35家住 都築 暎子 S37家食		14. 11月開催	6	相生市			
76	宝塚市	山田由紀子 S38理化 中島恵美子 S50理物		14. 11月開催	6	赤穂市			
42	川西市	川口登美子 S39家食 石原 範子 S47理物		14. 12月開催	0	赤穂郡			
5	川辺郡				7	佐用郡			
					14	龍野市			
					12	神崎郡	香山 昭子 S40文英		
					5	飾磨郡			
					2	粟粟郡			
					13	但馬地区	米田 純子 S40理動		
					14	三田市	河野 薫子 S41理化		13. 10. 21開催 (篠山祭り)
					4	篠山市	小林 嘉子 S37家被		
					8	水上郡	足立 瑞穂 S42家修食		
						廣内	保子 S44理植		
					13	淡路地区	由井 弥生 S42家被		15. 1月開催

佐保会と私

思い出すままに

浅野晶子 (S23家)

昭和二十三年三月、女高師を卒業して母校神戸市立第一高等女学校教諭の辞令を貰った私ですが、四月新任校へ行くと、同じ校舎ながら校門のプレートは「神戸市立湊川高等学校」と校名変更されていました。戸惑いはあったものの母校であり、恩師も沢山おられ、すぐに溶け込んで楽しく勤めました。

校舎が大倉山にあり、後の支部長松岡先生がいらした親和学園に近かったこと、八木先生が既に佐保会の中堅として色々お世話役をされていたという事情もあり、佐保会の先輩方も早くから親しくしていただきました。

当時、まだ世情が安定していなかったせいも、年に一度の総会といった形式的な事だけでなく、ひんぱんに会合がありました。青丹よしにも触れられていますが、支部の事務所をつくるという遠大な目的の資金作りに、物資不足の折

柄、お茶、下駄、その他細々とした日用品まで斡旋して下さる方もあります。そのせいか、早くから小泉ハツセさん(国漢四期)、飯田志津子先生(国漢三期)、菅井きよじ先生(数物二期)、武名穂先生(家事七期)方にも親しく声をかけていただきました。ちなみに私は家政科三十六期です。

さらに小泉さんが、戦後の混乱の中で様々の団体を立ち上げられ、大学婦人協会、婦人有権者連盟、婦人矯風会、めぐまれない子どもたちへの愛護運動である青い鳥運動、消費組合のお仕事などにも佐保会員が直接間接に関わっていました。

このように幅広い活躍をされていた小泉さんが、この年(昭和二十三年の十月)の第一回教育委員公選に出馬されることになりました。この頃は公務員も選挙運動が出来たので、若い私も運動員としてかり出され、生まれてはじめて選挙運動をする事になりました。

本部は中山手の消費組合の二階にあり、放課後そこにかけて、メガホン(厚紙製)とのほり(桃太郎)をもって、辻々に立って道行く人々に、時には家々の扉に向かって話かけるのです。はじめは膝がガクガク、話はトツトツ、少し馴れてきた頃に開票の日を迎えました。

前記のようにその活動は目覚ましく、知名度も高かったので上位当選は確実と信じていましたのに、最後まで最下位当選か落選かのスレスレの線上を往き来し、本部は緊張した空気に包まれました。最後に最下位で当選が決まり、皆涙で泣きました。

支部の事業の一つに友愛金庫(頼母子)がありました。昭和三十年代は経済の急激な成長の時代で、新しい電化製品などが次々に売り出されますが、今の様にカードローンも割賦販売もなく、全額現金を持って行かなければ購入できない時代でした。先輩方の中には積立ただけで満期には利子を受け取らず満額のみ受け取る方が多いのですが、私のように早くお借りする者は、次の月から少しずつ利子をお払いするのです。それがその後何かの折りに有効に使わ

れ、僅かになりましたが今も友愛貯金として残っています。私はおかげで電話債券を買ったり、娘のピアノを買う事ができ、とても助かりました。

こうして様々な形で公私共に恩恵を受けた先輩方、佐保会には感謝の気持ちいっぱいです。震災の後、はからずも支部長を仰せつかり、これまた多くの方々のお助けを得て、何とか無事にバトンタッチすることができ、少しはご恩返しが出来たかなと思う今日此頃です。



今日あるのは両親のお陰

内匠慶子 (S 18保)

私がこの世に誕生いたしましたのは、大正十三年六月九日の真昼間のこと。母が龍野から音楽の検定試験を受けに明石に来て、その会場である付属小学校の門を叩き、はじめて出会った人、試験官だったその人が、私の父となった訳です。小説のようなお話、「不思議なご縁」としか言いようのない出会いだっただけです。そして大正十年二月に結婚。丁度その頃、明石に市立となった播陽幼稚園があり、その園長に、という話が出て、母は結婚二ヶ月目に園長を拝命したので。翌年に姉が生まれ、次の年に私が生まれているのですから、新しい幼稚園づくりの最中に、私もお腹の中から応援していたことになりました。

生まれた時は元気な子だったのですが、誕生日を迎える頃から肺炎を起こして、毎年冬になると肺炎になり、幼稚園時代は病弱で年子の幼な子を養育していた祖母一人では手が回らず、私の為には看護婦さんにまでお世話になっていた弱虫だったのです。

それが娘になった頃にはすっか

り元気になっていましたが、将来のことを考える時には、もう第二次世界大戦が勃発しておりました。

母が急に「学校へ行くのがよい」といって奈良女高師の保母科を勧めました。運よく入学が許された私は、今から思えば幸せな人生の入口に入ったようなものだったと思うのです。母は四十五才で最愛の夫と死別し、子ども四人を育てながら幼児教育一筋の道を歩んでいきましたが、戦災に遭った幼稚園の再建・モデル幼稚園の建設・全国的な幼稚園のレベルアップ等に命をかけておりました。

家には病気で寝たきりの姉が居ましたが、それをものともせず、明るく強く生きていく生きざまが私のお手本となりました。昨春秋、図らずも叙勲の榮に浴し、皇居へ参りました時には心から両親に感謝いたしました。余生は皆様への幸せをお返ししたい気持ちで一杯です。



Masashi

若草コンサートそれから

藤井勢子 (S 48家食)

若草が発足して間もない頃、手芸の会、散策の会、会員による講習会、子連れ参加の会……そうそうチャリティーコンサートはどうかしら、そんな発想の中で開かれた第一回若草新春コンサート。阪神大震災の三日前。初めての手作りコンサートでスタッフは一生懸命、やり終えて安堵した所であの地震でした。色んなものが崩れていく

中で、一緒に運営した人達、演奏者、会員同志の安否の尋ね合い等、どんなにか心強かった事でしょう。

その後、二年毎に。運営も軌道に乗り……。でもプレイガイドにはコンサート的美しいちらしがあふれ、連日の様にどこかでいいコンサートが、又家に居ながら大家の演奏がCDやテレビなどで聞ける時代に、コンサート企画などしな事のない運営委員、しかも同窓会母体の会でなぜコンサートをと疑問の声も……。

コンサート聞いた人からは「いいコンサートだった。」選曲も演奏者の技量も素晴らしい。「是非これからもずっと続けてほしい。」の反響。素人企画の手作りコンサ

ートとはいえプロの演奏家による素晴らしいコンサートに毎回好評でした。私自身他のどのコンサートよりもいいと思う事は、演奏者も会員とつながりのある人であり、運営委員も若草会員、聞き手も何らかのつながりのある人という事で三者一体となったテンションのあがるコンサートである事、またコンサートが終わってからその時の出合いがきっかけで友達になったりする事です。

コンサート会場まで足を運び、音楽を聞き、人との出合いがあり、これぞ最高の贅沢だと思えます。家で聞き流している音楽は素通りしていくけれど、生のコンサートは演奏者や会場や何かの出来事とオーバーラップして心の中にしっかりと残っている音楽なのです。生のコンサートのよさはやはり人と音楽なのでしょう。

第一回 一九九五年一月十四日
兵庫民小劇場

第二回 一九九七年十月十一日
(フルートとピアノ)
神戸産業振興センター

第三回 一九九九年十月二十四日
(声楽とピアノ)
神戸産業振興センター

第三回 一九九九年十月二十四日
(バイオリンとフルート)

奈良女と私

久野禮子 (S30 理物)

「奈良女という最高の学校を出ていらつしやるのに、何が不満で組合専従などされるのですか」と、ある人に言われました。しかし、私は教職員組合こそ教職員の良心の結集であると考えていますから、その役員であったことに誇りをもっています。

憲法で労働者の労働三権(団体権、交渉権、争議権)が保障され、教職員組合は地公法第五十二条による法律上の団体です。とはいえ、組合費を納めて、楽しいことより苦しいことの方が多い活動をするのです。決して損得勘定では割り切れません。子どもの前に立つ教職員としての「生き方」に深く根ざしていると思います。宮沢賢治の「私が先生になったとき」という詩の一節「自分がスクラムの外にいて 子どもたちに仲良くしろと言えるのか」「自分の闘いから目をそむけて 子どもたちに勇気を出せと言えるのか」に共感を持っています。

私は、神戸市中学校に五校十八年間勤めてきました。以降の二十二年間は兵庫県教職員組合(兵教組)の専従執行委員でした。しか

も、四十八歳で教員を退職し、全国でも数少ない女性プロ専従でした。組合と私は、どんな接点があったのでしょうか。

新任で勤めたA中学校は、当時、「組合」色の強い分会でした。あるリーダーの方を中心に勤評闘争、安保闘争、学テ闘争など積極的に行動しました。勤評提出日の神戸市教委前座り込み、学テ反対の自作ビラ配布などを思い出します。

私の愛読書が大学時代はサルトル、カミュ、ポーボワール、その後はレーニン、毛沢東、マカレンコだったことから思想性がわかります。それだけ、戦争から受けた心の傷が深かった青年時代でした。

当時、市教委の人事主事であった郷美美枝先生が私のところに來られて、「これからは、数学教育に打ち込みなさい」と、指導主事の石田一三先生を紹介して下さいました。今までの行動に疑問を感じ始めていた矢先であり、先輩のご配慮に感謝しました。託された課題は、「ユークリッド幾何学・論証のプログラム学習化」でした。早速、代表的な問題を選んでプログラムニングし、法政大学で開催された日本数学教育学会で発表したところ全国的な反響を呼び、郷先生も大変喜んで下さいました。

西代中学校に勤め、数学研修部幹事をしていた頃、神戸市教組執行委員長から「県本部で女性執行委員の人材を探している、ぜひ立候補を」という要請がありました。断わりきれずに決意したのが、労働界入りの始まりです。一九七一年度でした。

兵教組は兵庫県内の小・中学校に勤める二万人以上の教職員が加入しています。組織力・闘争力とも優れた組合です。本部に入ってから左まで個々に違う意識と要求を持った人たちをまとめ、激動する社会情勢の一步前を見見した方針を提案することの難しさ、大切さを身をもって学ぶことができました。

一九七〇年代後半から、ストライキを基軸にした賃金闘争から、職能団体としての教育力量向上、専門家集団としての政策提言また国際教育交流に力点をおいた路線を選択してきました。

私は、日本の教育改革にとって教職員組合の役割こそ重要であると思っています。労働界は男性まかせでなく、ジェンダーの視点をもち女性の参画が必要です。

執行部との初顔合わせで、印部する県教育委員長にお目にかかりましたが、女性は先生と私、期

せずして佐保会員二人のみであったことが印象に残っています。



旧ハッサム住宅

奈良女子大と私

織部ミチ子 (S29 家食)

平成七年一月の阪神大震災で、現在住んでいる家が全壊し、幸いにも人災、火災にもあわず家の倒壊だけに終わりました。取り出せる荷物を取り出し、最近、その荷物の整理をしていますと、手紙と少し古ぼけた一枚の写真が出てきました。写真には故波多腰先生ご夫妻、友人二人と私の五人が写っており、卒業後に先生宅へ遊びに行った時のもので懐かしく見ました。薄らいでいた大学時代、先生方を思い出し、今日までの女子大との関わりについて改めて思い起こしました。

昭和二十五年四月奈良女子大に入学しましたが、一年上は女高師から女子大へ入学した方と外から女子大を受験し入学した方の混合の学年で、女子大として受験し入学した最初の学年は私たちでした。入学時は、まだ食料事情も好ましくなく寮も朝・夕の食事は当番制で自炊していました。その経験が卒業後、結婚し役立っている人も多いようです。

昭和二十九年三月卒業までいろいろありましたが、卒業後、専攻科に進もうかと思っていましたら佐保会兵庫支部の故小泉ハツセ大先輩から電話があり、神戸市立中学校に勤めていた先輩が退職されるため、後任に奈良女子大の人を入れたいので臨時の教員採用試験を受けてほしいと頼まれ、急なことでしたが受験し、合格したので波多腰先生に報告に行きますと「あなたなどもつたいない」と言われ驚きました。結果は神戸市に勤めました。その言葉は今も残っており、自分なりに理解し努力してきました。

の後、曾谷先輩からの話で県立姫路短大へ、そして元大阪教育大教授の新福先輩から兵庫教育大への話があり、迷い、曾谷先輩に相談しますと「あなたは教育に適しているように思えるので、教育大に行かれたら」と推められ、兵庫教育大に移り定年まで十四年勤めました。ここでは中学校の経験も生かされ、また自分なりの教師像（小・中学校教員）を考えたり、教育に携わってよかったと思っています。

定年という一つの区切りで見ますと、奈良女子大という組織のバックと、時代は異なっても奈良の地で何年間か過ごした共通のものをもつ先輩・後輩、そして恩師や友人との繋がり、また、その人達の一言や学生時代に読んだ本の一節に感銘や感動を受け、心や考え方に、そして人生の生きる力や喜び、方向性（転機）に影響を与えられたりしています。

このように考えますと生きて行く根底には人があり、人により支えられ励まされたりすると、一人では生きて行けないことを感じ、人間を、そして人間関係を大切にしなければと思います。

「青丹よし」 その後

大橋 節子（S41文英）

昨年三月、支部の大勢の方々のご協力で「青丹よし」が発行できました。約一世紀近く経つ支部の歩みを振り返ると共に、その時代を生きた多くの同窓生の足跡を書き留め冊子に纏めたい、そして長く引き継がれた母校の伝統を次世代に伝えたいというのが記念誌発行の趣旨でした。

冊子が届いてから多数のご意見や感想を頂戴しました。友人の手記に昔の記憶を重ねた方、戦争下で同じような体験をした祖母様に冊子を送りたいとの依頼、友人との音信再開などこの記念誌が、同窓の糸を縦横に紡いでいく一助になったかと思えます。

現在、東京都国立市にお住まいの岩下ミツエさん（S3卒業）から浅野晶子前支部長宛に届いたお便りの一部をご紹介します。

略

記念誌を拝見致しますと尋常の懐古録ではございません。日本での女性最高の学府で教育をされた方々がその分野を生かして世界的に活躍された功績と拝読できました。奈良女高師、奈良女子大卒業生の歩みとして、努力の人生、輝かしくも花開いた人生とそれぞれの歩みを桃色の冊子に収めて「青丹よし」がこの度国立国会図書館に収まりましたとの御報も、とても嬉しのお便りでした。

略

来週は支部総会の日が参ります。遠い若かった日の気分でお仲間に入れて頂きましょう。あらあらかしこ 岩下ミツエ



あせびのバッチ

佐保婦人学級

平成14年度
佐保婦人学級
運営委員

寺田 翠 078-911-5364	瀬川 順子 078-361-1543
大橋 節子 078-792-1440	射延 瑞枝 0794-84-1998
田中 幸恵 0795-42-3821	

- * 佐保会員以外の方のご入会も歓迎いたします。
 - * 年度途中でも入会できますので、運営委員までお申し込みください。
- 会費 年間 3000円 当日のみ参加 500円

平成14年11月～15年12月 佐保婦人学級年間予定(第20～21回)

月 日	内 容	会 場	時間・講師	備 考
H14 11. 13 (水)	紅葉の近江路 「小倉遊亀特別展と石山寺」	バスツアー JR三宮駅東急イン前 8時30分出発		費用7000円 滋賀県立近代美術館
12. 10 (火)	料 理 「簡単で美味しいお正月料理」	生活創造センター 4階	11:00～15:00 生活創造センター専属講師 荻田 美代氏	材料費1000円
H15 2. 5 (水)	「防犯、安全について考える」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 神戸市市民専属講師	施錠 セキュリティ問題など
3. 5 (水)	閉 講	神戸市立勤労会館	13:00～15:00	茶話会
4. 16 (水)	開 講 文学作品にみる女性の生き方	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 秋里三和子氏	平成15年度
5. 14 (水)	書 道 「般若心経を書く」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 川口登美子氏	細筆
6. 18 (水)	森林植物園に 紫陽花をたずねて	10:30～14:00 集合 JR三宮 森林植物園行きバス乗場		
7. 9 (水)	古典を楽しむ 「平家物語」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 林 茂代氏	
9. 17 (水)	手 芸 「残布を使った小物作り」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 都筑久美子氏	裁縫道具
10. 15 (水)	旅の英会話 「いざという時」	神戸市立勤労会館	13:00～15:00 外国人講師	
11. 19 (水)	「紅葉の丹後半島を訪ねる」	バスツアー JR三宮駅東急イン前 8時30分出発		伊根の舟屋 天の橋立 費用7000円程度
12. 3 (水)	料 理 「おもてなし料理」	生活創造センター 4階	11:00～15:00 生活創造センター専属講師 荻田 美代氏	材料費1000円



「佐保婦人学級」の報告

寺田 翠 (S37文幼)

「いつまでも健やかに美しく心豊かに生きたい」と誰もが願っている永遠のテーマを掲げて堅実な歩みを続けて本年度は、二十年目と言う区切りのよい年を迎えました。この会は熱意のある佐保会員の皆さまと、その道を究められた講師の方々に支えられて存続していると言う事を深く実感しています。運営委員も年々検討を重ねてより充実した活動内容を計画しています。ここにその全容をお知らせ致します。今後の会がますます大きくそしてあたたかい人の輪が広がることを期待しています。

皆さまのご協力を切にお願い申し上げます。

事務局便り

平成14年度 支部役員

役名	氏名	卒業年学部	住所
支部長	秋里三和子	S 27 文	北区
副支部長	川口登美子	S 39 家食	川西市
	出井 葉子 (若草)	S 55 文教	北区
事務局	鈴木 久子	S 37 家食	尼崎市
	寺田 翠	S 37 文幼	明石市
	大橋 節子	S 41 文英	須磨区
	射延 瑞枝	S 42 家被	三木市
会計監査	加藤 澄子	S 31 文幼	垂水区
	藤岡 利子	S 38 家被	尼崎市
本部理事	佐藤すなほ 浅野 晶子	S 19 家 S 23 家	尼崎市 中央区
本部評議員	秋里三和子	S 27 文	北区
	大久保勝美	S 31 文国	北区
	光長紀美子	S 34 理生	芦屋市
	寺田 翠	S 37 文幼	明石市
本部監査	瀬川 順子	S 41 文英	中央区
佐保会学園理事	浅野 晶子	S 23 家	中央区
佐保会学園評議員	大田奈緒美	S 37 理化	垂水区
大学婦人協会役員	岩城 尚子	S 33 文国	芦屋市
	樋口由美子	S 49 家被	芦屋市

平成13年度事業報告
 第9回 「若草」
 第19回 「佐保婦人学級」
 6月3日 神戸ポートピアホテル
 で支部総会及び第9回
 「若草」定例会
 8月25日 地区リーダー会
 11月1日 第25号「支部だより」
 発行(灘区担当)
 11月11日 「睦会」(於「楽珍」
 昭和33年卒業生担当)

平成14年度事業計画
 第10回 「若草」
 第20回 「佐保婦人学級」
 5月26日 神戸ポートピアホテル
 で支部総会及び第10回
 「若草」定例会
 8月28日 地区リーダー会
 11月1日 第26号「支部だより」
 発行(中央兵庫長田区
 担当)
 11月10日 「睦会」(於「舞子ホテ
 ル」昭和34年卒業生
 担当)

平成13年度会計報告並びに平成14年度会計予算

収入の部			支出の部			
費目	平成13年度決算	平成14年度予算	費目	平成13年度決算	平成14年度予算	
前年度繰越	1,836,336	2,639,492	本部会費	941,500	945,000	
会費	2,297,500	2,305,000	総会補助費	132,990	170,000	
内訳	本部会費	941,500	945,000	通信印刷費	246,555	280,000
	支部会費	1,356,000	1,360,000	交 通 費	54,280	70,000
預金利息	644,914	50	事業費	名簿印刷費	230,000	150,000
本部より補助	59,520	54,000		名簿送料	1,600	5,000
寄 付	12,000	0		支部だより印刷費	200,000	200,000
合 計	4,850,270	4,998,542		睦会補助	30,000	50,000
資産内訳 (H14. 3. 31現在) 定額郵便貯金 1,850,000 郵便貯金 73,504 為替貯金 651,805 現 金 64,138 計 2,639,492 名簿印刷用積立金 230,000 (別途友愛貯金) 定額郵便貯金 891,000 郵便貯金 6,871 現 在 高 897,871				若草補助	30,000	50,000
				佐保婦人学級補助	30,000	50,000
				リーダー会経費	57,494	60,000
				もより会補助	88,600	105,000
				慶 弔 費	58,452	130,000
				事 務 費	109,307	130,000
			予 備 費	0	5,000	
			小 計	2,210,778	2,400,000	
			次年度繰越	2,639,492	2,598,542	
			合 計	4,850,270	4,998,542	

地下鉄海岸線『夢かもめ』に乗って中央・兵庫・長田へ



平成13年7月7日に開通した地下鉄海岸線は、新長田-三宮花時計間約8km10駅を15分で結びます。おしゃれな町**三宮**、レトロな**旧居留地**、ベイエリアの玄関口・メリケンパークへのアクセスに便利な**元町**、10周年を迎える**ハーバーランド**に加えて海岸線の開通で兵庫と長田南部の活性化が実現されました。

中央卸売市場 は一般の人も買物や飲食ができ、小袋単位での販売もされており、新鮮なネタの寿司や安くおいしい定食は好評です。近くには運河沿いのキャナルプロムナード(栈橋状の散歩道)が整

備され、能福寺の兵庫大仏、平家ゆかりの史跡や清盛塚をたずねて歴史散策なども。

御崎公園 今年6月FIFAワールドカップが開催されたウイングスタジアムは来春のグランドオープンを目指し、二次整備の真最中です。

開閉屋根の設置、温水プールやアスレチックジムなどが整備されて、都市公園として再オープンします。

駒ヶ林 妹尾河童さんの小説「少年H」の舞台、長田南部。昔ながらの商店街を南へ下ると、今なお漁師町の風情が残る長田漁港です。

「若草」からのご案内 ～ 早春の会 ～

旧居留地のビル最上階で、おしゃれな昼食をご一緒に。

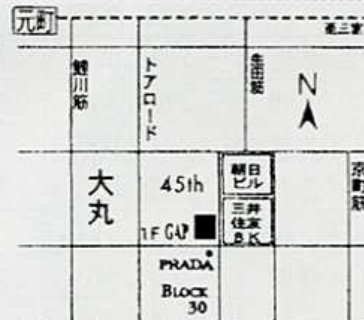
日時 2月26日(水) 11:30~14:00
場所 レストラン「オルフェ」TEL 078-334-7622

元町 大丸東 GAPのビル10階

会費 5000円

申込 杉村裕子 (078-952-3524)

1月31日(金)まで 電話かFAXで



SOS 編集後記

社会情勢の変動や少子化の影響を受け、教育改革と共に大学の方角性が問題になっていきます時、今後の女子大のあり方を意識する上で「佐保会(女子大)と私」というテーマを設定し「支部だより」を編集しました。

支部だよりを編集するに当たり、原稿を依頼しました方々には、快くご協力下さいました有り難うございました。お陰で支部だよりを皆様のお手元にお届けすることができました。

担当は神戸市中央・兵庫・長田区で、少人数の慣れないものが何回も打ち合わせをし、和気あいあいと編集しましたので、お互いに親密感が増しよかったと思っています。

織部ミチ子 (S29家食)

中央・兵庫・長田区編集委員
織部ミチ子 高橋 淳子 右田 俊子
田中加代子 赤松 和子

平成15年度支部総会
・平成15年5月25日(日)
・神戸ポートピアホテル